

○令和2年度第2回神戸市保健医療審議会 医療専門分科会開催結果

日時	令和2年11月4日（水）午後1時30分～
場所	神戸市医師会館 3階市民ホール
議事進行	平田分科会長（神戸大学医学部附属病院長） 事務局（神戸市健康局地域医療課長）
出席者	委員17名中13名が出席
議事次第概要	<ul style="list-style-type: none"> ・分科会長及び副分科会長の選任について ・病院及び診療所の開設・増床許可等事務に係る意見について（仮称）にこここハウス医療福祉センター（中央）
内容	<p>○分科会長及び副分科会長の選任について、互選の結果、平田分科会長、置塩副分科会長が選任された。</p> <p>○（仮称）にこここハウス医療福祉センター（中央）の開設について、社会福祉法人芳友より病院開設事前協議書（資料2）の提出があったため、法人から説明のうえ、内容について協議。</p> <p>（主な質疑応答や意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師の確保の用途はどういう状況か。 <p>→現在のこここハウスにも、常勤が6名ぐらいおり、1つの法人が2施設を運営していくことになるので、どういう形の配置にするかまだ決まっていない。施設長以下全員が神戸大学小児科の出身者なので、そちらの人事のほうに関してお願いしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの看護職と介護職を採用される予定ということだが、どちらも非常に採用には厳しい面があると思うが、このあたりの予定等を教えてほしい。 <p>→現在、こここハウス自体が、ショートステイに力を入れており、看護師を多目に現在の段階でも採用している。</p> <p>どちらかという介護職のほうが、集めにくい状態であるが、現在、次の開設に向けて少しずつ多目に採用している。</p> <p>ただ、3年、2年ぐらいかけて55床に持っていくという計画をしているので、看護師・介護職員を徐々に増やしていくという形を今、考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新築じゃなく、改修されて使われるが、防災に対する取り組みとか、工夫は何かされているか。 <p>→もともと老人保健福祉施設として使われており、震災直後にできた</p>

建物で、古くなったということで改修している。

この改修にあたっては、我々に運営をお願いしたいという話が神戸市からあったときから、設計についてかなり綿密にかかわり、障害者の方に十分配慮した形にはしているつもり。

- ・この施設は、再来年オープンだが、本当に待ちに待ったというか、いろんなところから「こういう施設を」という要望は聞いていた。先ほどの試算では、入所待機者が80名以上ということだが、実際はもっと多いと思う。また、当初からフルオープンはできない、徐々にということ、待機の多い方々の一部しか入れないということであるが、何とかもう少し最初からフルオープンにできるような方策は非常に難しいのか。

→なかなか、スタッフは、新規の人ばかりではなく、現在にここハウスで働いている人にも行っていただく予定だが、看護師の経験が長くても、こういう重症心身障害児・者のケアというのは、スタッフを集めたからすぐオープンできるというものではなかなかないので、それぞれの方によってケアの仕方が大きく変わっていくようなところがあるので、どうしてもある程度慣れていく中においてでない、一気に増やせない。できるだけ早くは進めていきたいと思うが、やはり職員の練達度とか、いろんなものを考慮した上で進めていきたい。こういう形で、事故や、最近、ある施設であったようないじめの問題とか、いろんなストレスがかかることによって、そういう問題もあるので、職員の環境も十分考えながら、皆が慣れていくという形でやっていきたいと思う。

- ・内情はよくわかるが、できるだけ前倒しで進めていっていただけたらありがたい。

法人からの説明、質疑応答をふまえ、事務局で意見書案を作成し、分科会長・副分科会長で確認することで承認された。(後日作成した意見書は別添のとおり)